

Garrard 401 の再構成(15) —フォノイコライザーの交換(5)—

1. はじめに

Garrard 401 は、[前報\(14\)](#)においてフォノ入力のあるマランツ 7 タイププリアンプを使用することにしていましたが、ThorensTD124 の導入の結果、[ThorensTD124 の導入\(10\)](#)で報告のとおり、MySonic Stage1030 のトランスとマランツ 7 タイププリアンプを ThorensTD124 に使用することにしました。このため、Garrard 401 とは繋ぎ替えをしながら使用することになりますが、これを避けるため、ZANDEN Model 120 のアンバランス入力を活用することにしました。

2. Garrard 401 の再構成の試聴方法

Garrard 401 のフォノケーブルを、RCA コネクタを介して延長し、ZANDEN Model 120 のアンバランス入力とします。RCA コネクタは、[ThorensTD124 の導入\(9\)](#)と同様のものを使用します。なお、ZANDEN Model 120 のバランス入力は、LINN LP-12 で使用しています。

試聴音源は、ThorensTD124 の導入(9)と同様、聴きなれた下記を使用しました。

LONDON SLC 1138

ファリャ 三角帽子

アンセルメ指揮スイスロマン

ARCHIV(日本ポリドール) 28MA 0020

J.S.Bach チェンバロ協奏曲

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンサート

harmonia mundi(Deutche) KUX-3248-H

ミトマニア

ベーレン・ゲスリン

キングレコード SKA-104

愛と自然の歌

倍賞千恵子

3. Garrard 401 の再構成の試聴結果

Garrard 401 のフォノケーブルを、RCA コネクタを介して延長し、ZANDEN Model 120 にアンバランス入力します。ZANDEN Model 120 の設定は、三角帽子は DECCA カーブの逆相、チェンバロ協奏曲は TELDEC カーブの逆相、ミトマニアは TELDEC

カーブの正相、倍賞千恵子は **TELDEC** カーブの逆相にします。

三角帽子は、これまでより音の立ち上がりがよくなり、定位や奥行き感が向上しています。

チェンバロ協奏曲は、これまでより音が緻密になり、チェンバロの繊細な表現も向上しています。

ミトマニアは、これまでよりボーカルの抜けがよくなり、バックの古楽器の音も明瞭になっています。

倍賞千恵子は、伸び伸びと屈託がなく、歌唱の表現も細かいところまで出ています。

フォノイコライザーを **ZADEN Model 120** とし、イコライザーカーブや位相切り替えも適正と思われる条件に設定しましたので、これまでとは随分印象が変わり、伸び伸びとして、ニュアンスの表現も向上しています。

4. まとめ

Garrard 401 について **ZADEN Model 120** への入力による再生が可能となり、ゲインやハムも問題なく、**ZADEN Model 120** のイコライザーカーブや位相切り替えも活用できるようになりました。フォノイコを **ZADEN Model 120** とすることにより、**Garrard 401** の音は、**LINN LP-12** の音に近づきました。

以上